

2023年3月期（第123期）第2四半期  
（2022年4月1日～2022年9月30日）

# 芦森グループ決算説明資料

連結業績は、売上高 29,087百万円、  
営業利益 444百万円、経常利益 1,169百万円、  
親会社株主に帰属する四半期純利益 1,036百万円となりました。

2022年 11月 10日

芦森工業株式会社

## 前年同期比で 増収増益

	2021年3月期 2Q累計実績	2022年3月期 2Q累計実績	2023年3月期 2Q累計実績	前年同期比	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
売上高	21,001	24,182	29,087	4,905	20.3
営業利益	▲ 776	▲ 1,019	444	1,463	-
（営業利益率）	▲ 3.7%	▲ 4.2%	1.5%	-	5.7
経常利益	▲ 1,250	▲ 652	1,169	1,821	-
特別損益	▲ 17	▲ 47	4	52	-
税金等調整前 四半期純利益	▲ 1,267	▲ 700	1,173	1,874	-
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	▲ 1,732	▲ 646	1,036	1,682	-

- ・自動車安全部品事業、機能製品事業ともに、前年同期比で増収増益。
- ・為替差益（698百万円）の計上により、経常損益も大幅改善。

		2022年3月期	2023年3月期	前年同期比	
		2Q累計実績	2Q累計実績	百万円	%
		百万円	百万円	百万円	%
自動車安全部品事業	売上高	17,469	20,924	3,454	19.8
	営業利益	▲ 1,094	8	1,103	-
	(営業利益率)	▲ 6.3%	0.0%	-	6.3
機能製品事業	売上高	6,694	8,145	1,451	21.7
	営業利益	310	718	408	131.8
	(営業利益率)	4.6%	8.8%	-	4.2
不動産収入、 本社経費他	売上高	18	17	▲ 0	▲ 4.1
	営業利益	▲ 234	▲ 282	▲ 48	-
合 計	売上高	24,182	29,087	4,905	20.3
	営業利益	▲ 1,019	444	1,463	-
	(営業利益率)	▲ 4.2%	1.5%	-	5.7

### セグメントの営業利益の 算定方法の変更

従来は、セグメントに直接帰属しない一般管理費は本社経費に含め、各セグメントに配分していなかったが、当期よりセグメントごとの業績をより適正に評価管理するため、一部の費用の配分方法を各セグメントの実態に合った合理的な基準に基づき配分する方法に変更している。

なお、前年同期のセグメントの営業利益は、変更後の方法により算定している。

### 自動車安全部品事業

第1四半期では主要顧客の生産調整の影響を受けたが、第2四半期は回復基調で推移。円安効果と原材料コストの増加を売価に転嫁した結果、シートベルト関連、エアバッグ関連、内装品関連とも増収となった。

### 機能製品事業

- ・パルテム関連…ライフライン（下水道・上水道・ガス等）の管路更生分野で前年度からの繰越工事が順調に進捗したこともあり、売上・利益ともに大幅に増加。
- ・防災関連…防災関連資機材は順調に推移したものの、消防用ホース、災害対策用排水ホースは想定を下回り、売上・利益ともに減少。
- ・産業資材関連…物流省力化分野がトラックの大幅減産の影響を受け低迷し、売上・利益ともに減少。

（単位：百万円）	2022年3月期 2Q末	2022年3月期末	2023年3月期 2Q末	前期末比
流動資産	26,667	30,062	31,176	1,114
固定資産	20,225	20,221	20,651	429
資産合計	46,892	50,283	51,828	1,544
有利子負債	16,529	16,557	17,007	450
その他負債	14,573	16,463	16,865	401
負債合計	31,103	33,020	33,872	852
資本金	8,388	8,388	8,388	-
資本剰余金	1,632	1,632	1,632	-
利益剰余金	5,964	7,120	8,006	886
自己株式	▲ 154	▲ 151	▲ 152	▲ 0
その他の包括利益累計額	▲ 81	235	41	▲ 194
新株予約権	22	21	21	0
非支配株主持分	16	17	17	0
純資産の部合計	15,789	17,263	17,955	692
負債及び純資産の部合計	46,892	50,283	51,828	1,544
自己資本比率	33.6%	34.3%	34.6%	0.3%

- 流動資産では、現金及び預金、棚卸資産等が増加。
- 有利子負債については、安定的な資金調達のため借入期間の長期化を進めている。

(単位：百万円)	2022年3月期 2Q累計実績	2023年3月期 2Q累計実績	前年同期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,106	2,433	1,327
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 3,802	▲ 801	3,001
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,093	17	▲ 2,076
現金及び現金同等物に係る換算差額	37	146	109
現金及び現金同等物の増減額	▲ 565	1,796	2,361
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,008	3,978	▲ 1,030

(単位：百万円)	2019/3 期		2020/3 期		2021/3 期		2022/3 期		2023/3 期
	2Q	通期	2Q	通期	2Q	通期	2Q	通期	2Q
設備投資額	2,125	4,375	1,546	2,817	397	1,545	3,930	4,762	855
減価償却費	908	1,906	1,051	2,209	1,030	2,057	910	1,842	956

※ 2022/3期の設備投資額には、本社・大阪工場での土地取得 3,485百万円を含む。

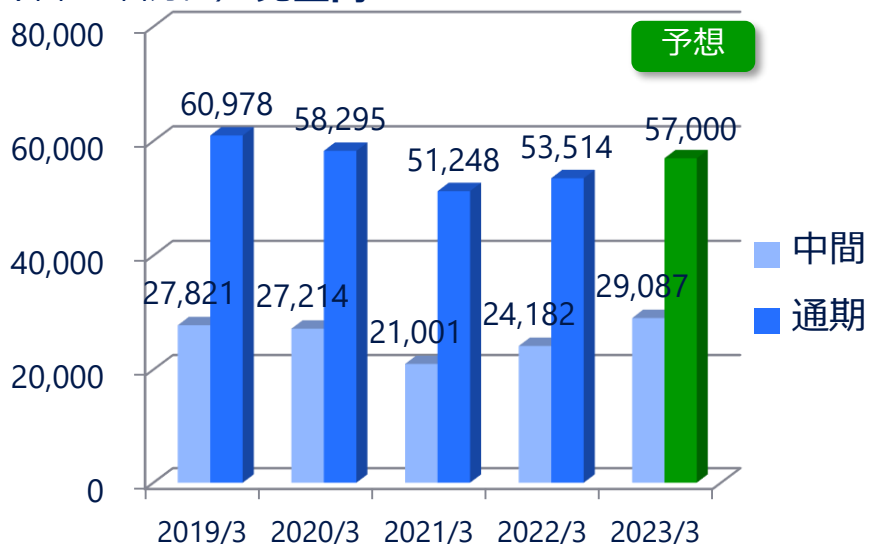
- 「営業活動によるキャッシュ・フロー」  
四半期純利益の増加等により、前年同期比で改善した。
- 「投資活動によるキャッシュ・フロー」  
前年同期は本社・大阪工場での土地取得があったため、改善した。
- 「財務活動によるキャッシュ・フロー」  
新規借入の抑制により、前年同期比で減少した。

		2022年3月期	2023年3月期	前期比	
		実績	予想	百万円	%
		百万円	百万円	百万円	
自動車安全部品事業	売上高	35,718	37,800	2,081	5.8
	営業利益	▲ 1,273	▲ 236	1,037	-
	(営業利益率)	▲ 3.6%	▲ 0.6%	-	2.9
機能製品事業	売上高	17,764	19,200	1,435	8.1
	営業利益	2,268	2,186	▲ 82	▲ 3.6
	(営業利益率)	12.8%	11.4%	-	▲ 1.4
不動産収入・ 本社経費他	売上高	32	30	▲ 2	▲ 6.9
	営業利益	▲ 458	▲ 650	▲ 191	-
合 計	売上高	53,514	57,000	3,485	6.5
	営業利益	536	1,300	763	142.5
	(営業利益率)	1.0%	2.3%	-	1.3
	経常利益	671	1,250	578	86.1
	特別損益	35	0	▲ 35	-
	親会社株主に帰属する 当期純利益	510	1,000	489	96.0

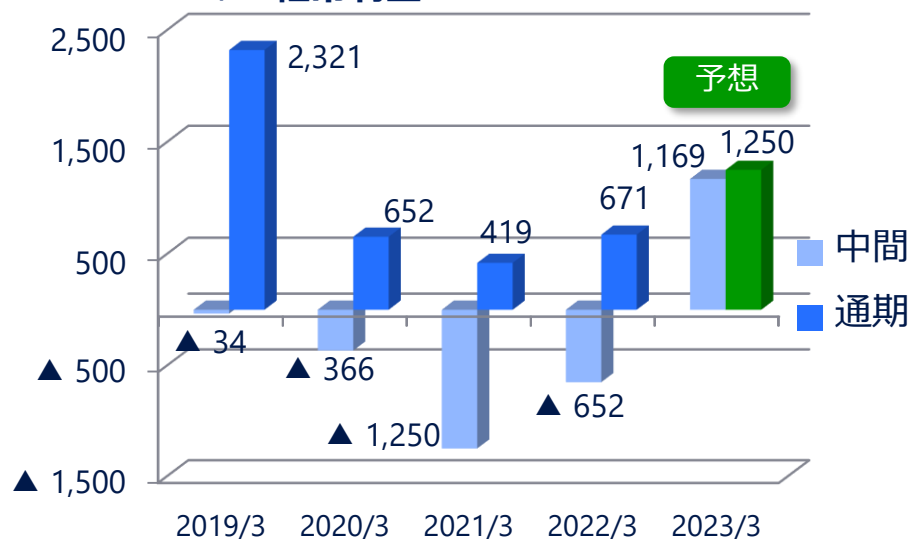
- 当第2四半期業績は対前年同期比で大幅に改善されているが、引き続き原材料費アップや生産変動、為替変動のリスクがあり、業績予想は当初予想を据え置く。
- 自動車安全部品事業においては、豊田合成株式会社との資本業務提携を一層深化させ、収益改善を進めていく。機能製品事業においては、パルテム関連において増加する下水道分野の管路更生需要への対応と、防災関連の大口径システム・防災資機材の積極的な拡販活動に取り組んでいく。



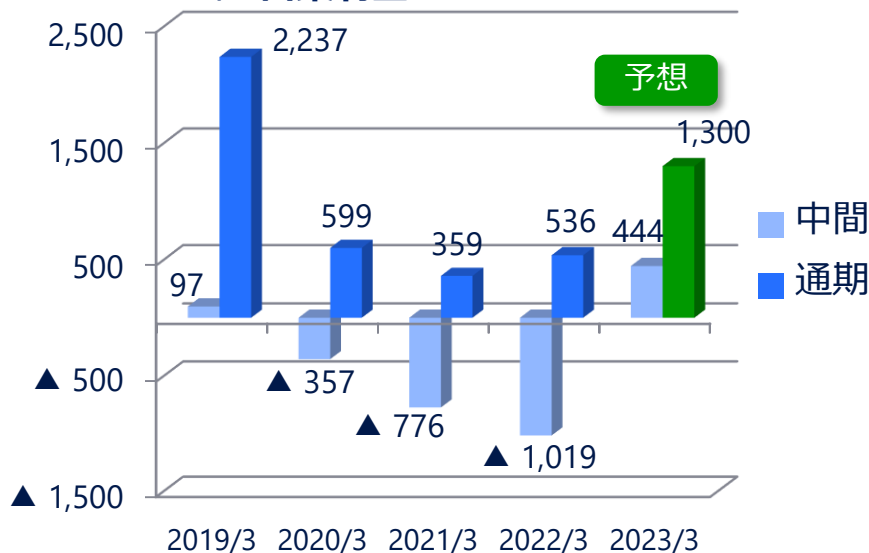
(単位：百万円) 売上高



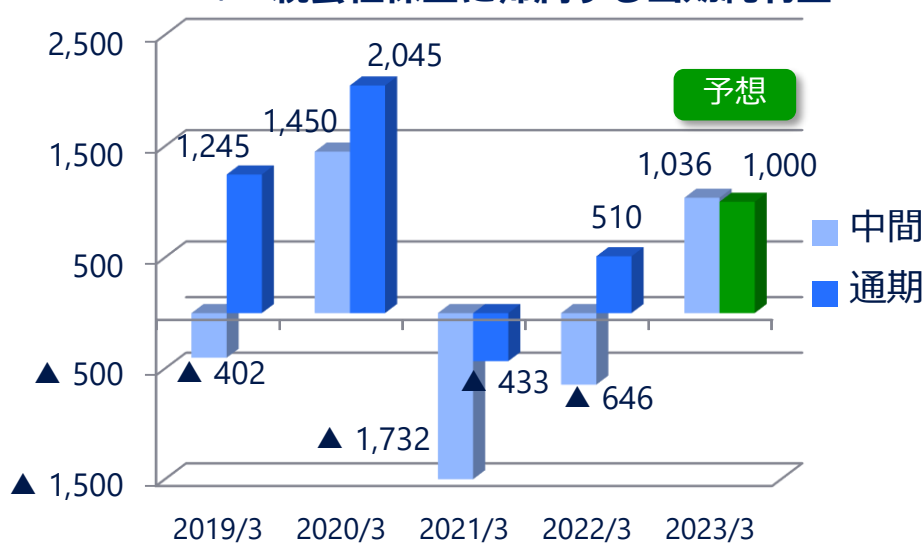
(単位：百万円) 経常利益



(単位：百万円) 営業利益



(単位：百万円) 親会社株主に帰属する当期純利益



## 自動車安全部品事業本部 主要製品のご紹介

## シートベルト



1967年にシートベルトメーカーとして初めてJIS規格の認証を受けて以来培ってきた技術が詰め込まれており、「モーター巻取り式リトラクター」をはじめ、「次世代シートベルト」への挑戦にも積極的に取り組んでいます。

## エアバッグ



1986年にエアバッグの開発に着手し、1989年に量産を開始。座席サイド部分に内蔵される「サイドエアバッグ」や「カーテンエアバッグ」等、正面衝突以外の衝撃を緩和するための多種多様なエアバッグを製造しています。

## 手動シェード



ドアトリム内にビルトインされた巻取り式ドアシェードです。使用時以外はドアトリム内に巻き取るため視界を遮ることがなく、また上端まで閉めればプライバシーを守ることができます。

## セパレーションネット



乗員スペースとラゲージルームを仕切るネットで、急制動時に乗員スペースへの荷物の進入、荷くずれを防止し、乗員を守ります。



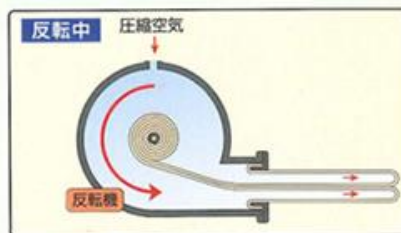
## 機能製品事業本部 主要製品のご紹介

## パルテム・フローリング工法



住宅リビングの床をイメージできるフローリング工法は、円形のみならずあらゆる断面形に対応できる、主に下水道向け管路更生工法です。

## パルテム・ホースライニング工法



既設管の内面にシールホースを「反転」挿入し、新しくパイプを形成するパルテムの原点となる工法です。

## 消防用ホース 低圧力損失ホース



放水時の圧力損失を従来品と比較して最大約50%低減し、より遠く、高く、早く放水でき、低燃費で操作できるため環境への負担も軽減できるホースです。

## 緊急排水ホース「パルジェット」



水害や災害の現場で排水ポンプ車がすぐに使用できるように軽量化した緊急排水対策用ホースです。

## リフトアップ式搬送システム「エアーロールシステム」



円滑なトラック貨物の移動により荷役作業を省力化させるシステムで、女性や高齢者でも容易に扱え、作業負担を軽減します。

## 水上太陽光発電設備接続資材



水上太陽光発電設備を接続固定するベルト類を提供し、クリーンエネルギーを支えます。

## 芦森工業株式会社 社是

1. 信用を重んじ、堅実を旨とする。
2. 人の和と開かれた心で活力ある企業を築く。
3. 創意を生かし、社業を通じて社会に貢献する。

## Mission・Vision・Values

### 【ミッション】

“私たちの使命は、命と暮らしを守る製品を提供することです”

### 【ビジョン】

“私たちは、すべての人々に信頼される企業グループであり続けます”

### 【バリュー】

“私たちは、誠実に、ルールを守り、品質最優先のものづくりに取り組みます”



ちから  
つむぐ技術、  
つなげる未来

本資料中の業績予想および見込みについての記述は、本決算発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、記載された将来の業績を保証するものではありません。

#### IRに関するお問い合わせ先

芦森工業株式会社 総務部 広報・IR課  
TEL : 06-6105-1680  
MAIL : ir\_madoguchi@ashimori.co.jp  
HP : <https://www.ashimori.co.jp>